

美しい敬語

野元菊雄 著

検
印
廃
止

美しい敬語

©昭和47年11月15日 初版発行

著 者 野 元 菊 雄
発 行 者 沢 藤 盛 祐
印 刷 所 大日本印刷株式会社

発 行 所 株式 会社 芸術生活社

〒110 東京都台東区台東
4-29-12 振替東京 30670
TEL03(833)1661 代表

落丁本・乱丁本はお取り替えいたします

0281-1169-1892

美しい敬語

野元菊雄著

芸術生活社

まえがき

敬語ってものは、日本語にとって基本的なものであると思う。ひとことでも話そうとすれば、たちまち人はこれにとらわれる。

つまり、自分や話し相手、それに話題になつてゐる人間の社会的関係がどうなつてゐるかによつて、同じ中身のことを言うにも、具体的な言い方はいろいろ違つてくる。この言い方を違えるのが敬語なんだ。たとえば、同じことでも、部長のことを、課長に言う場合と社長に言う場合とじゃことばは違ふだろう。同じ課長のことでも、部下が互いに言うときのことばの上の扱い方と、他の組織の人に言うときのそれとは違ふし、また、その場合だつて、営利会社の場合と官庁のような場合とは違ふだろう。

こういう、言語的環境の違いによつてことば使いのいろいろの違いを正しく使いこなすのは相当むずかしい。ことばがうまく使えない、と悩む人がよくあるけれど、それはこういうことについてなんだろう。

こんな風に悩む人が多いから、それじゃどう話したらいいかということを書いた本が、それこそ汗牛充棟もただならぬほど出てゐる。そこにまた一冊をこの本が加えることになるんだ

が、わたしにもわたしなりの新工夫がないでもないんで、あえて加えてみようと思った。今までの敬語の本にはあまり図がない。これを視覚化したら、各場面に応じて、あの図式で話せばいいんだなということが視覚的にあるいはわかるんじゃないか。そして、この図に共通のしるしを使って、敬語に係る語の、いわば敬語的辞書を考えてみることにした。そんなことで、この本もあえて生まれる価値があるんじゃないかと思う。

敬語は封建制の遺物で、これからの世の中には必要ないっていう意見ももちろんないじゃないけど、敬語がなくなるってことはちょっと考えられない。学長をつかまえて「おい君！」なんて言った闘士も、卒業して就職すれば社長にそう言うわけにもいくまい。こういう体制の是非は別のところで論ずることとして、ただ現実問題としてこういう体制があり、この体制とともっとも遠い社会で、この体制用のことばをろくに教わらないできた人たちが大いに困ってるってことを座視できないっていう、きわめておせっかいな、老婆心ならぬ老爺心からこれを書いた。

と言っても、人間は——ってえと人間に対して申しわけない——わたしは、きわめて怠け者で、そういう心を起こしたって、出版のあてなしに書くなんてことはできない。やっぱりだれかきっかけを作ってくれる人がなくっちゃならない。この役目は、学協の斎藤さんと細入さんが果たしてくれた。だれから聞いたものか、わたしのところにやってきて、しきりに書けと言

う。実は他にも義理あってしかもほうつてあるのがあって、長いことためらっていた。このためらいを打ち破ったのは、特に細入さんの熱心なすすめによる。

この細入さんは、わたしがそのころ雑誌「言語生活」に書いた『言語は色眼鏡だ』っていう文の文体を使ったら、と言ってくれた。これは大変ありがたかった。

実は、「である」っていう文章体がわたしには気に入らなくて、できるだけ「だ」体で書くことにしていたんだが、それじゃちよつと中途半端なんで、何とかもつと話しことばに近いものにできないかといつも考えていて、その一つの試みをこの『言語は色眼鏡だ』でやってみたのだった。この本は、この文体でわたしの書く二つ目のもので、だからまだ十分ねれていない、未完成のものだ。人によっちゃあんまり東京方言的と思うかも知れない。

わたしはかねがね京都の人たちの書く軽妙な文体にひかれていた。おそらく東京語的な文章語では自分の真情が吐露できないところからこんな関西弁の話しことばによる文体を創り出したんだろう。だが、関東人でもやっぱり文章語はびったりしないんだ。これが、何とかしたいとわたしの考えた理由だった。

野元 菊雄

目次

まえがき

日本語と敬語

ことばは眼鏡である……………	16
日本語と敬語というもの……………	21
ことばの正しさとは……………	25
時代による敬語の違い……………	29
地域による敬語の違い……………	35
絶対敬語から相対敬語へ……………	39
敬語は何のために使うか……………	43
敬語の害毒について……………	48

敬語と敬語の種類

敬語とはいったい何か	52
敬語の種類について	54
敬語の表現法について	58
敬語に使われる単語	59
敬語に使われる接辞	63
敬語に使われる助動詞・補助動詞	67
その他の敬語に使われる単語	69

図式敬語の使い方

敬語の場面の示し方	74
場面のまず初めの捉え方	78
1・二人称と一人称	
11・二人称—一人称	79

1 1 1・二人称の動作へのうやまい	80
1 1 1 1・その動作が一人称に及ばないもの	80
1 1 1 2・その動作が一人称に及ぶもの	82
1 1 2・二人称への間接のうやまい	84
1 1 3・二人称へのへりくだり(謙讓)	86
1 2・一人称—二人称	88
1 2 1・二人称の動作へのいやしめ	89
1 2 2・一人称の動作へのうやまい	91
1 2 3・一人称の下の方への動作	93
1 2 4・一人称の下への動作	95
1 2 5・一人称に向かつての上向きの動作	97
1 3・一人称 二人称	100
1 3 1・二人称の下への動作	101
1 3 2・一人称の上向きの動作	103
1 3 3・二人称の上向きの動作	104
2・一人称・二人称・三人称	106
2 1・三人称が一番上の場合	107

211・三人称の動作へのうやまい	108
2111・三人称だけの動作へのうやまい	108
2112・一人称に対する動作へのうやまい	110
2113・二人称に対する動作へのうやまい	112
212・三人称の下への動作	114
2121・三人称だけの下への動作	114
2122・一人称に対する下への動作	116
2123・二人称に対する下への動作	118
213・三人称の上向きの動作	120
214・三人称への上向きの動作	121
2141・一人称の上向きの動作	121
2142・二人称の上向きの動作	124
215・特殊な場合	125
22・二人称が一番上の場合	128
221・二人称の動作へのうやまい	128
222・三人称の下への動作	131
2221・三人称だけの下への動作	131
2222・一人称に対する下への動作	132
223・二人称の下への動作	134

2 2 4 ・ 一人称の下への動作……………	136
2 2 5 ・ 三人称の上向きの動作……………	
2 2 5 1 ・ 三人称だけの上向きの動作……………	139
2 2 5 2 ・ 一人称への上向きの動作……………	141
2 2 5 3 ・ 二人称への上向きの動作……………	143
2 2 6 ・ 三人称の動作へのいやしめ……………	144
2 3 ・ 一人称が一番上の場合……………	146
2 3 1 ・ 一人称の下への動作……………	146
2 3 2 ・ 二人称の下への動作……………	147
2 3 3 ・ 三人称の下への動作……………	150
2 3 4 ・ 三人称の上向きの動作……………	
2 3 4 1 ・ 三人称だけの上向きの動作……………	151
2 3 4 2 ・ 一人称への上向きの動作……………	152
2 3 4 3 ・ 二人称への上向きの動作……………	154
2 3 5 ・ 一人称の動作へのうやまい……………	155
2 3 6 ・ 三人称の動作へのいやしめ……………	156
3 ・ 三人称が二人のもの……………	158

間違いやすい敬語

31・一人の三人称の動作へのうやまい	158
32・一人の三人称の下への動作	161
33・一人の三人称の上向きの動作	164

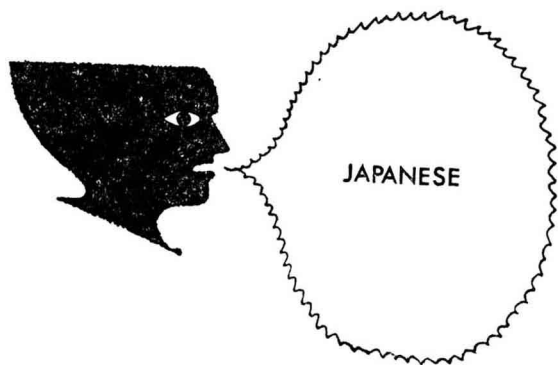
敬語の使い方についての「小調査」	170
上役の呼び方について	170
レベルをそろえる	171
謙讓語を尊敬語と間違えないこと	174
その他の尊敬語でないものを尊敬に使わないこと	179
敬語のつけすぎに注意	181
「お」をつけすぎないように注意	182
必要なところには敬語を落とさないこと	184
敬意を払わなくてもいいものには敬語はつけない	185
周囲の人の気持ちを考えよ	186

夫のことを何と言うか	188
------------	-----

敬語の使い方テスト

敬語の問題例	196
三人称が一番上の場合	197
二人称が一番上の場合	201
一人称が一番上の場合	205

敬語辞典



日本語と敬語